

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みずのきステップ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月4日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年1月4日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童期を卒業し、一人の大人として扱うべき高学年・中学生に特化しています。パソコン、科学、農業など、幼稚さを排した本格的な活動を通じ、自己肯定感を高めます。	本人の主体性を尊重し、指示待ちではなく「自分で選ぶ」環境を整えています。専門的な機材や道具を使用し、達成感を得やすいハイレベルな課題設定を工夫しています。	個別の進路相談を強化し、得意分野を将来の就労や自立した生活に繋げる道筋を共に考えます。専門講師との連携も深め、より高度な体験ができる機会を創出します。
2	パソコンスキルだけでなく、農業での協調性、SSTでの対人マナー、社会体験での実践力など、自立に不可欠な「静と動」のスキルを多角的に学べる体制が強みです。	各活動を孤立させず、農業で育てた物をパソコンで記録し、社会体験で活用するなど、活動間の繋がりを意識しています。実体験を通じて社会の仕組みを学べるよう配慮しています。	「計画・実行・評価」を本人が行う機会を増やします。パソコンでの情報収集から外出先での対人対応まで、一連の流れを自分で行うことで、生き抜く力を総合的に養います。
3	県道16号線沿いの立地を最大の「教材」と捉えています。公共交通機関を日常的に利用できる環境は、単独通所の練習や、社会のルールを実地で学ぶための絶好のフィールドです。	通所自体を「自立訓練」と位置づけ、経路確認や乗車マナーの指導を個別に行っています。安全に配慮しつつ、徐々に支援の手を離していく段階的指導を徹底しています。	ソコで時刻表や運賃を調べ、実際に公共交通機関を使って目的地へ行く「移動シミュレーション」を定例化します。自分の力で行きたい場所へ行ける自信と自律を支えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	中学生という時期もあり、パソコンなど好きなことには集中しますが、苦手な活動を避けてしまう傾向があります。得意を伸ばす一方で、興味の幅を広げてバランスよく自立支援を届けることが現在の大きな課題です。	パソコンは好きだけど農業は苦手、といった活動の偏りが出やすいです。小学校高学年～中学生は自分の好きなことに集中しやすいため、全体的なバランスを保つのが難しい面があります。	無理にやらせるのではなく、「パソコンで農業の計画を立てる」など、得意なことと繋げて興味の幅を広げます。一人ひとりの「これならできる」を丁寧に探していきます。
2	自意識が高まる年齢ゆえに、人との関わりに不安や照れを感じ、学習したマナーを素直に実践できない場面があります。集団の中で自分の気持ちを調整し、他者と折り合うスキルをどう育むかが支援のポイントです。	自意識が高まる小学校高学年～中学生にとって、SSTや集団活動での「失敗」は大きなストレスになりやすく、自分の気持ちを素直に言葉にできずに衝突したり、閉じこもりしてしまうことがあります。社会に出るためのスキルが必要だと分かっている、感情のコントロールが追いつかない場面があることが大きな課題です。	集団の中での「正しい振る舞い」を押し付けるのではなく、個別の面談(フィードバック)の時間を増やし、本人の葛藤に寄り添います。小さな成功を積み重ねるSSTを継続し、安心できる環境で対人スキルの練習ができるよう支援を徹底します。
3	パソコン操作やマナーを知識として覚えても、実際の社会体験や交通機関の利用時に、状況に合わせて使いこなすことがまだ難しい状態です。学んだことを「生きた力」として行動に移すための実践経験が不足しています。	パソコン操作や社会のルール、公共交通機関のマナーなどを知識として「知っている」状態にはなっています。しかし、いざ実際の社会体験の場で想定外のことが起きると、学んだ知識を応用して自分で判断し、行動に移すことが難しいという、実践力の不足が課題として浮き彫りになっています。	座学や教室内の練習にとどめず、実際の駅やスーパー、農地などの「現場」での経験値を増やします。「失敗してもスタッフと一緒にリカバーする」経験を繰り返すことで、知識を「生きた知恵」に変え、将来の自立に直結する応用力を育てます。